

R3働き方改革事業推進校の取組状況

根室内中間報告会から

今号では、10月29日（金）に行われた、根室内の中間報告会で発表された中標津町立丸山小学校の報告内容から特徴的な取組等についてお伝えします。

推進校

中標津町立丸山小学校



主な取組内容

- マネジメントボードの活用
- 研修部通信による職員の意識啓発
- 年度初めの一週間を午前授業とし、午後は、学年団で年間スケジュールを立てる時間などに充てる。
- 交通安全指導を町内会へ依頼
- 図書室の整備をボランティアへ依頼
- 「身につけさせたい力は何か」という基準で、行事の在り方を見直し

Point ボトムアップによる取組の推進

研究主題「進んで学びに内かい 共に学び合う 中標津町立丸山小学校
心豊かな子どもの育成～子どもが主役の授業づくり～」 研修部設置 2020年4月設置 校長 大田 浩司

リンカーン
みんなの、みんなによる、子どものための研修

早い運動は授業力の向上につながる？

私事ですが、今年度から私が担任の小学校に転任しました。子どもが二人います。上の娘は昨年春から幼稚園へ、そして下の息子も今年度から幼稚園に通うことになり、その間幼稚園が主に担当することになりました。昨年春までの自分、どうも平均的な時間でした。でも、その間子どもを職員に入れた。何かしつてほしい仕事をして、しつて一緒に頑張る。次の目標は、いよいよ幼稚園で、授業の時間を短く、朝7時半に出勤して授業をするために必要な物を準備し、児童を迎え、授業という活動をしてきました。今年度からはこんな生活が不可能です。じゃあ、いよいよ幼稚園に送られるんだ？ 早起きしたところで日々の仕事は同じか？ この発想で思い浮かべた。授業の準備は、自分の仕事の仕方を変えてみれば？ じゃあ、そんな中、私の責任から何かが考え方や実践の参考になっている。素晴らしい、の通りである。成長を上げて実際に現場の仕事術（学級運営）にこれからの働き方改革の中心になることがたくさんあっていい。そして、これは他校だけでなく他校の現場にも関係しているのでは？ と思うようになりました。

主な課題

- 時間外在校等時間が45時間を超過している職員の数が減らない。
- 超過している職員の固定化

今後の展開

- 分掌業務の洗い出しをした上で、どのような働き方にシフトすべきか学校全体で模索する。

種々ある校内外の通信には学校の目指す姿が触れられていて統一感を感じます。教員の献身的な行動で信頼の厚い学校と拝察します。

働き方改革は、未来志向の学校づくりです。地域の信頼を土台に、協議を通して協働の取組を充実させ、好事例として啓発していただきたいと思います。



毛利教職員課主幹
（働き方改革）から



教育局働き方改革
推進チームから

校長先生の方針の下、重点を明確にし、重複しているものや目的が曖昧なもの、効果が見えないものは大胆に削除したり、委託する形をとっています。

地域の教育力を活用して教育の質を高めることや、職員一人一人が日常の働き方を意識することによって、学校が一丸となって働き方改革を進める好事例です。